

東北電力中学生作文コンクール 優秀賞受賞作品紹介

東北電力(株)が募集した中学生作文コンクールに629校から、延べ23,374編の応募作品がありました。その中から、松木内中学校2年生・斎藤ひさ子さんと、角館中学校3年生・今村令さんの作文が、秋田県代表優秀作品(15編)に選ばれ、12月3日に秋田市で表彰されました。

今回は斎藤さんの作文を紹介します。今村さんの作文は2月号で紹介します。

私の宝物・西木村



松木内中学校 2年 斎藤 ひさ子

私の「大切にしたいもの」は私の郷土、西木村です。西木村は宝箱のような所です。キラキラ光る大切なものがたくさん詰まっているのです。

例えば、山です。山にはたくさんの木々が茂り、その木々は季節が変わるごとに違った表情を見せてくれます。春の山は「萌えっこ」という黄色がかった緑色をした葉が、一斉に芽吹きます。長い冬を乗り越えて、芽を出した萌えっこは、日に当たるのがとてもうれしそうで、そんな萌えっこを見ていると、私まで心が弾みます。西木村の春は命の季節です。様々なものが、芽吹き、目を覚まし、息を吹き返します。そんな命のエネルギーを体いっぱい感じているから、私は生きている喜びをかみしめて毎日生きることが出来ます。

夏の山は、太陽の光をたくさん浴びた元気な葉がセミの声と共に風にゆれ、私達に元気を届けます。秋の山はカラフルに染まり、冬の山は白銀に光り美しく、そしてたくましくもあります。

このように、山は様々な姿を私達に見せてくれます。私達は山から生きるエネルギー、そして美しいと感じ、たくましいと感動する「心」をもらいます。こんなにもたくさんのものをくれる山に私たちができることは、山を守り、大切にしていくことだと思います。

人間の豊かな心を育む山は、人間の手によって壊されます。私は、山という宝物をずっと大切にしていきたいです。

そして、宝物は山だけではありません。

たくさんの魚が泳ぐ川も、空の光を受けて輝く田んぼも、カエルの声やセミの声、鈴虫の声など、いろいろな命を伝える声も全て宝物です。

それから、夜空いっぱいの星や、田んぼに映った空、山を吹き抜ける風など、西木村の全ての風景が、私の心を打つ宝物です。西木村はすべてが優しく輝いています。

私は、小さかった頃、西木村が好きではありませんでした。冬は寒いし、山奥だから遠くまでいかないし欲しい物が売ってなかったからです。

だから、たまに、お母さんの実家がある東京に行くの

が、とても楽しみでした。かわいい物や、楽しい所がたくさんある東京は、夢みtainな場所だったからです。だから、私は西木村は東京に比べたらなんてつまらない所なんだろうと思いました。

そんな考えが変わったのは、私がとても疲れた時でした。小学校三年生になって部活動が始まり、毎日練習がありました。そのときはクラスもゴタゴタしていて、なんとなく落ち着かない気分で毎日を過ごしていました。

そんな時に、心を癒してくれたのが西木村の自然と風景でした。山の緑から吹きぬける風は優しく私を包みこんでくれたような気がしてとてもうれしかったのを覚えています。

それから、一番心に響いたのが、田んぼに映った青空でした。青空の中を雲が泳いでいて、水面に波が立つと、雲もユラユラとゆれました。私は、なぜだかすごく感動しました。

そして、ドキドキしていた心が、すーっと楽になりました。よくわからないけど、西木村の自然と風景が、私の気持ちを落ち着かせてくれたのだと思います。

私は今でも落ち込んだりすると山に行っていれば景色を眺めたり、目をつむって、鳥や虫の声を聞いたりします。そうすると、なぜかとても落ち着いて元気が出てきます。明日もがんばるぞ、という気持ちになります。

だから、今では、わたしは西木村が大好きです。少し不便だけど、自然の中にいられて幸せだからです。

そしてもう一つ、私は西木村の人々が大好きです。あいさつをするといつも大きな声であいさつを返してくれるおばさんも、いつもニコニコしているおじいさんも大好きです。学校の友達も、温かい家族もみんな大好きです。そして、ずっと大切にしていきたいです。

西木村の人達はとても温かいのです。いつだったか、私がすごく重い荷物を一人で運んでいたら、近所のおばさんが、「大変だね。」と言って自転車の後ろに乗せて引っぱってくれました。私はとてもうれしくて胸がいっぱいになりました。二人で荷物を運んでいるとき、心はポカポカでした。きっとおばさんの優しさにふれたからだだと思います。

今年の九月から、西木村は仙北市になります。私は西木村という名前が好きだったので残念だけど、名前が変わっても変わらないものがあります。それは、西木村の美しい自然の風景、そして人々の心です。これらはなにがあっても変わらないものです。そして、ずっと大切にしていきたい宝物です。